

## ガラス残さ率低減の取組・結果

年度	ガラス残さ率	改善項目
H23	13.13%	・ペットボトルを運ぶコンベヤの乗り継ぎ部にスクリーンを設置(金沢)
H24	13.02%	・多角形ディスクローラ式選別機の導入を横浜市に提案し、金沢資源選別センターを除く全施設で導入(緑・戸塚・鶴見)
H25	12.99%	・アルミプレス品へのガラス等の異物混入を防ぐため、アルミ缶を選別する前処理として割れたガラス片等を除去できる多角形ディスクローラ式選別機の導入を横浜市に提案し、戸塚資源選別センター及び鶴見資源化センターに導入(戸塚・鶴見)
H26	12.67%	・アルミプレス機プレス品へのガラス等の異物混入を防ぐため、アルミ缶を選別する前処理として割れた片等を除去できる多角形ディスクローラ式選別機の導入を横浜市に提案し、緑資源選別センターに導入(緑) ・No.1・2破袋機出口側シュートゴム板延長(戸塚)
H27	12.77%	・ガラスびんの割れを防ぐため戸塚資源選別センターの破袋機出口側シュート部に緩衝材を設置(戸塚)
H28	12.07%	・No.1・2破袋機テール側カレットシュート延長(戸塚) ・資源物をホッパー内に投入する際の量や高さ等を調整(緑・戸塚・鶴見)
H29	11.24%	・No.1袋分離機出側コンベヤの出側機シュートに段差設置(戸塚) ・No.1ラインびん割れ調査実施(戸塚) ・戸塚資源選別センターにおいて、びん割れの原因となっていたベルトコンベヤの金属製部品にゴム製の緩衝材を設置(戸塚)